

平成22年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成23年1月19日(水) 10:00～10:50
場 所 事務局第一会議室
出席者 上井学長、丸山理事、加藤理事、川橋理事、堀理事
古賀委員、佐々木委員、土肥委員、中井委員
欠席者 塩川委員、福田委員、吉岡委員
陪席者 尾崎監事、檜枝監事、西田副学長、渋谷副学長、丹呉副学長、八木副学長、高木教養学部長、山口教育学部長、柳澤経済学部副学部長(伊藤経済学部長代理)、山口理工学研究科長、

前回議事要録の確認

平成22年度第2回国立大学法人埼玉大学経営協議会(平成22年11月18日開催)議事要録(案)の確認が行われ、了承された。

報告事項

1 経営協議会委員について

学長から、埼玉県副知事を辞職した橋本光男委員の後任として、塩川修副知事が平成22年12月29日付けで委員に就任した旨の報告があった。

2 平成23年度予算の内示について

丸山理事から、平成23年度運営費交付金の内示額について、配付資料に基づき、報告があった。

主な意見は次のとおり

政策コンテストにおけるパブリックコメントのように、学生が大学の在り方や現状について、意見を持つということは重要である。大学としてはこれらをどのように受け止め、また対応していくのか。

上記意見に対して、学長から、今回のパブリックコメントについては期間が短かったこともあり、きちんと精査はできなかったが、印象としては経済的な支援を必要とする学生からの意見が目立ったこと、今回このようなことが行われたことで、結果として学生にも大学が置かれている状況について理解を深めてもらう機会となったことなどが説明された。

一般運営費交付金について、人件費1%減のほかは例年並みで推移していると判断して良いか。

科学研究費補助金の獲得について、組織的に支援する体制を更に強化して欲しい。

上記意見に対して、学長及び理事から、人件費1%以外についても、教育研究費が1%の減額となっていることなどが説明された。

3 教育研究評価に関する評価報告書について

西田副学長から、大学評価・学位授与機構から示された、第1期中期目標期間における教育研究評価に関する評価結果の概要について、配付資料に基づき説明があった。

審議事項

1 中期計画の変更について

西田副学長から、平成23年度からの大学院理工学研究科博士前期課程の入学定員改訂に伴い、中期計画の別表(収容定員)の該当部分について変更を行う旨、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

主な意見は次のとおり

理工学研究科博士前期課程の入学定員増について、どのような意図をもって行ったのか。

法人化以降、入学定員増に伴い教員定数を増加することは難しいと思われるが、質の保証を踏まえ、修士学生の適正規模について、見解があれば教えてほしい。

上記意見に対して、理事及び理工学研究科長から、本学の将来構想における大学院強化という観点から増員を図ったこと、修士の指導を担当できる教員数は助教を含めると実質的に増加していること、社会における理工系大学院教育並びに人材育成の需要は高まっており、今後更に増員することも含めて適正規模を見極めていきたいことなどが説明された。

就職状況が厳しい中、理工系の学生については需要があるということで良いか。

上記意見に対して、理事及び理工学研究科長から、現時点での就職率を昨年と同時期と比較したときに、全体としては悪化しているにも関わらず、理工系修士については高まっていること、過去のデータを精査したうえで、定員増により今後の学生の就職に悪影響を及ぼすことはない判断したことなどが説明された。

その他

1 埼玉大学フェローについて

渋谷副学長から、今年度新たに制定した埼玉大学フェロー制度の概要及び称号を授与した5名の経歴について、配付資料に基づき、説明があった。

2 次回日程（平成23年3月29日（火））

学長から、開催時間については、改めて各委員の都合を調整したい旨の連絡があった。

以上